



豊かな海の恵みを受けて発展してきた海峡のまち明石。11月13日に本市で全国豊かな海づくり大会兵庫大会が開催されます。

特定工場の緑地面積率を緩和する条例

市の条例案を賛成少数で否決

大きすぎる事業者への負担

第1回定例会3月議会が2月21日から3月25日まで、4月議会が4月6日から7日まで開かれました。3月議会では工場緑地面積率を緩和する議員提案条例の再議を先の議決のとおり決定し、市提出の条例を否決したほか、令和4年度当初予算など議案48件を可決、報告6件を了承、請願2件を採択しました。4月議会では地方税法上の守秘義務の調査に関する決議など議案3件を可決しました。

3月25日の本会議では、市提案の明石市工場立地法の特例措置及び周辺地域における生活環境等の向上に資する取組の推進に関する条例案を賛成少数で否決しました。

本条例は、特定工場の緑地面積率等を緩和するとともに、緩和による緑地の減少分を補うための取り組みを事業者が義務付けることにより、周辺地域の経済・社会・環境の全体を緩和する前と比



賛成少数で否決

べてより良いものとする明石市版ネット・ポジティブ・インパクトの考えを導入しています。このほか、この考え方を専門的な立場で評価し、助言や提案を行うアドバイザー会議の設置、良質な緑地の形成や二酸化炭素排出量の削減等が難しい事業者は、市が行う緑化推進のための費用を拠出

すること、事業者と地域組織および市が協定を締結することなどを規定しています。審査を行った総務常任委員会では、委員から、本条例は工場緑地のあり方検討会の答申を最大限尊重しており、市民意見公募でも賛成意見が半数以上を占めている。また、SDGsの理念にも合致するとの賛成意見がありました。

一方、宅地開発などにより、市内各所で緑が減少している中、市域全体の緑の在り方を検討しないまま、工場内の緑地についてのみ厳しい規制を設けることは公平性を欠くなどの反対意見がありました。

水上オートバイの安全な利用へ罰則を定めた条例を可決 マナーやモラル向上を促す

3月25日の本会議では、明石市水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例案を全会一致で可決しました。

令和3年に市の海域内で水上オートバイの危険行為が発生したため、本市は、刑事告発や海岸パトロールを行ってきまし

水上オートバイによる危険行為が後を絶たないことから、海域等での水上オートバイ等の利用に伴う事故を防止し、海域等の利用者の生命、身体および財産を保護するため、新たに条例を制定するものです。

主な内容は、水上オートバイ等による危険行為を禁止するほか、市長が危害防止に必要と認めるときは期間を定めて遊泳者安全区域を指定します。同区域において水上オートバイ等による危険行為を行った場合は、6カ月以下の懲役または50万円以下の罰金を科すことを定めています。また、安全な利用を促進するため、毎年7月を海の安全月間とします。



ブイを設置し安全区域を指定

審査を行った建設企業常任委員会では、委員から、水上オートバイの利用マナーやモラルに関する市民への周知方法について質問がありました。市からは、利用が多く見込まれる今夏までに周知する必要がある、ゴールデンウィークまでにリーフレットを作成し、広報あかし等で周知するとの答弁がありました。

- 2 会派を代表して3人が市政を問う代表質問
- 3 市政を問う 14人が登壇 質疑・一般質問
- 6 全国豊かな海づくり大会兵庫大会 予算の拡充を市長に要望

- 6 オンラインで開催 若者との意見交換会
- 6 ロシアのウクライナ侵攻 断固抗議する決議を可決
- 7 2030年度までのまちづくりの指針 第6次長期総合計画を策定

- 8 すべての人の暮らしに安心を 新年度予算の概要と審査
- 10 議員提出の工場緑地面積率の緩和条例 市長が再議を求める
- 12 各議員の議案等に対する賛否を掲載 議案の賛否一覧



市議会だよりを
スマホで読める

※利用にはアプリのダウンロードが必要で

